

# 小泉改造内閣の評価と課題

～'05.11 政治意識月例調査から～

小林利行 編成局（編成）

## はじめに

去年10月31日、小泉総理大臣は自民党の役員人事と内閣改造を行い、第3次小泉改造内閣を発足させた。

小泉総理大臣は、これまでの党役員や閣僚人事で、女性や民間人を積極的に登用したりする、いわゆる「サプライズ人事」を行うことが多かった。このため、今回も、どんな意表をつく人事が行われるかが注目点の一つだったが、初当選したばかりの猪口邦子氏が、少子化・男女共同参画担当大臣に抜てきされた以外は、大きな「サプライズ」はなかった。

小泉総理大臣は、今回の改造内閣を「改革続行内閣」と位置づけた。竹中平蔵氏を公務員の人件費削減などに取り組む総務大臣に起用し、郵政民営化担当大臣と兼務させるなど、構造改革の総仕上げをはかる態勢を作った。

また、今年の9月に自民党総裁の任期が切れるのに合わせて総理大臣を退任する意向を示している小泉総理大臣は、「改革路線を外す人が私の後の総理・総裁になることができるとは思えない」と述べ、自らの後継者となる「ポスト小泉」候補に改革を競い合わせる考えを示している。

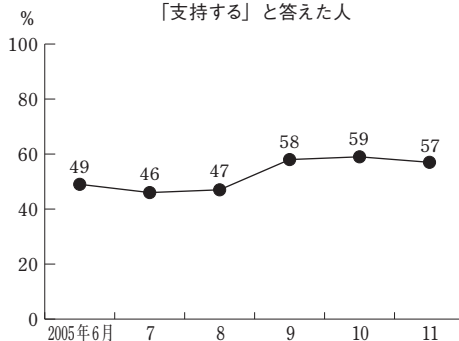
NHKでは、去年11月に行った月例政治意識調査で今回の党役員人事や内閣改造について聞いた。この調査結果をもとに、国民が小

泉改造内閣をどう評価しているのかなどをレポートする（質問文と単純集計結果は本文の後に掲載）。

## 最近の内閣支持率

党役員人事・内閣改造の評価の前に、最近の小泉内閣の支持率の推移をみていきたい。去年6月から11月までの6ヵ月の変化を示したのが図1である。9月の調査は、9月11日に行われた衆議院選挙後に実施しているが、この選挙をはさんだ8月から9月にかけて、それまで40%台後半だった内閣支持率が、50%台後半に上がっているのがわかる。11月調査では「支持する」が57%だった。

図1 小泉内閣支持率の推移  
「支持する」と答えた人



この選挙は、「郵政民営化に賛成か反対か」「改革を止めるな」という明快なフレーズで国民に訴えかけた小泉総理大臣に支持が集

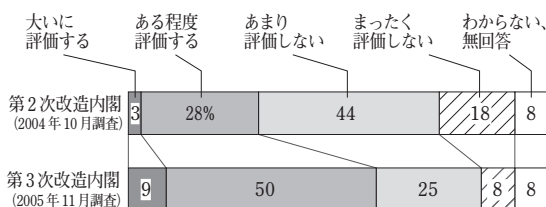
まって自民党が圧勝した。選挙での小泉総理大臣への支持が9月の調査の内閣支持率にもあらわれ、10月・11月とその高い支持率が持続している。

## 党役員人事・改造内閣 6割近くが「評価」

それでは、今回の自民党の役員人事と内閣改造を国民はどう考えているのだろうか。小泉総理大臣による今回の人事をどう評価するか聞いたところ、「大いに評価する」が9%、「ある程度評価する」が50%で、あわせて6割近い人が「評価する」と答えている。一方、「まったく評価しない」は8%、「あまり評価しない」は25%で、あわせて33%の人が「評価しない」と答えている。

これを、おととしの9月に第2次小泉改造内閣が発足した際の調査結果と比べてみたい。おととしの10月の月例調査で同じ質問をしたところ、「大いに評価する(3%)」と「ある程度評価する(28%)」をあわせると31%だった。一方、「まったく評価しない(18%)」と「あまり評価しない(44%)」をあわせると62%だった。ちなみに、この時の内閣支持率は45%であった。前回と比べて、今回の人事の評価が高いのがわかる(図2)。

図2 第2次改造内閣と第3次改造内閣の  
評価の比較



前回の人事も、「改革」を進めることに重点が置かれていた。小泉総理大臣が改革の本丸と位置づける郵政事業の民営化を実現するため、経済財政担当大臣として民営化をリードしてきた竹中氏に、郵政民営化担当大臣を兼務させるなどした。また、前回も若手などを大胆に起用する「サプライズ」はなく、全体的な構図は今回の人事とそれほど差はなかった。しかし「評価」には大きな差が出ている。

これは、「小泉改革」に対する国民の意識の変化のあらわれだと考えるのが自然だろう。郵政民営化を中心とした「小泉改革」は、前回の内閣改造の時にはそれほど共感を得られなかった。しかし今回は状況が変わっていた。

去年7月から8月にかけて、小泉内閣が国会に提出した郵政民営化関連法案が、衆議院では僅差で可決されたが、参議院では否決された。これを受けて小泉総理大臣は、「郵政民営化に賛成か反対か国民に問いたい」として衆議院を解散し、総選挙に打って出た。こうした劇的な小泉総理大臣の政治手法が国民の関心を集め、「小泉改革」に対する支持が高まった。選挙の結果は自民党の圧勝だった。

「小泉改革」に対する国民の意識の変化が今回の人事の評価にも反映され、前回に比べて高い評価となったと思われる。

## 「支持なし層」の評価は分かれる

党役員人事・内閣改造の評価を支持政党別にみてもみた(表1)。自民党支持層で「(大いに+ある程度)評価する」が81%と高くなっているのはわかるとして、民主党支持層の中でも44%が「(大いに+ある程度)評価する」と答えているのは注目される。

ただ、支持なし層では、「(大いに+ある程度)評価する」43%、「(まったく+あまり)評価しない」46%と意見が分かれていて、新内閣が無党派層から支持されているとは言えない。

表1 党役員人事・内閣改造評価するか(支持政党別)

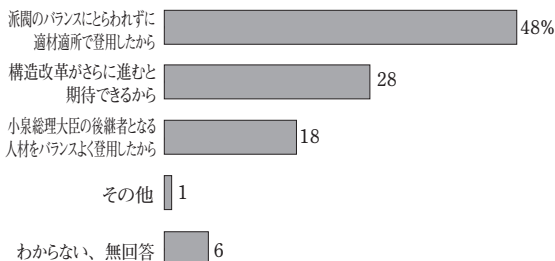
	全体	自民	民主	支持なし
	1,046人	431	149	328
大いに評価する	9%	14	3	3
ある程度評価する	50%	67	41	40
あまり評価しない	25%	14	36	35
まったく評価しない	8%	2	17	11
わからない、無回答	8%	4	2	12

## 評価の理由は「派閥にとらわれない登用」

次に、「評価する理由」「評価しない理由」をみていきたい。今回の党役員人事・内閣改造を「(大いに+ある程度)評価する」と答えた人に、その理由を尋ねたところ、「派閥のバランスにとらわれずに経験豊富な人材を適材適所で登用したから」が48%で最も多かった。次いで「構造改革がさらに進むと期待できるから」が28%、「小泉総理大臣の後継者となる人材をバランスよく登用したから」が18%となっている(図3)。

一方、「(まったく+あまり)評価しない」

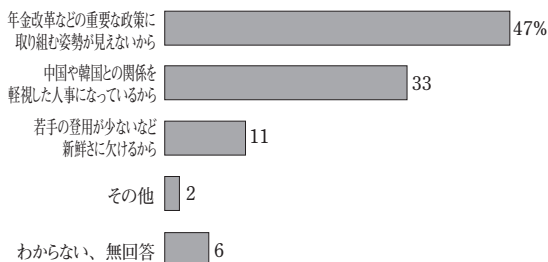
図3 今回の人事を評価する理由



\* 今回の人事を「(大いに+ある程度)評価する」と答えた人に、3つの選択肢の中から1つだけ選んでもらった。(全体=614人)

と答えた人の理由は、「年金改革などの重要な政策に取り組んでいこうという姿勢が見えないから」が47%で最も多く、次いで「中国や韓国との関係を軽視した人事になっているから」が33%、「若手の登用が少ないなど新鮮さに欠けるから」が11%となっている(図4)。

図4 今回の人事を評価しない理由



\* 今回の人事を「(まったく+あまり)評価しない」と答えた人に、3つの選択肢の中から1つだけ選んでもらった。(全体=350人)

派閥の力関係に配慮した人事をしなかったことが評価される一方、年金などの社会保障政策に対する姿勢を疑問視する声も少なくないことがわかる。

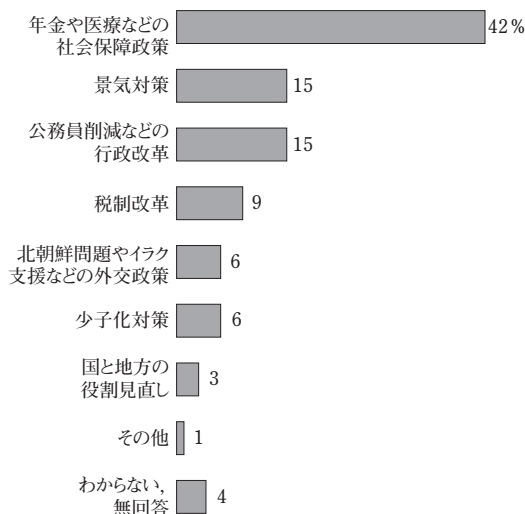
## 取り組んでほしいことは「社会保障」

新しい内閣の具体的な政策について、国民は何を期待しているのだろうか。新しい内閣に最優先で取り組んでほしい政策は何かと尋ねた結果が図5である。「年金や医療などの社会保障政策」と答えた人が42%と、他を大きく離して最も多くなっている。次いで「景気対策」と「公務員削減などの行政改革」がともに15%だった。

支持政党別にみてもこの傾向は変わらず、自民支持層・民主支持層・支持なし層とも、40%以上が「社会保障」と答えている。

新しい小泉内閣の当面の課題としては、国

図5 新内閣に最優先で取り組んでほしいこと



と地方の役割を見直す、いわゆる三位一体の改革や、政府系金融機関の統廃合、それに国家公務員の人件費の削減などがあげられる。今回の調査結果からは、こうした改革にもまして、年金や医療などの社会保障の改革に対する期待が大きいことがわかる。

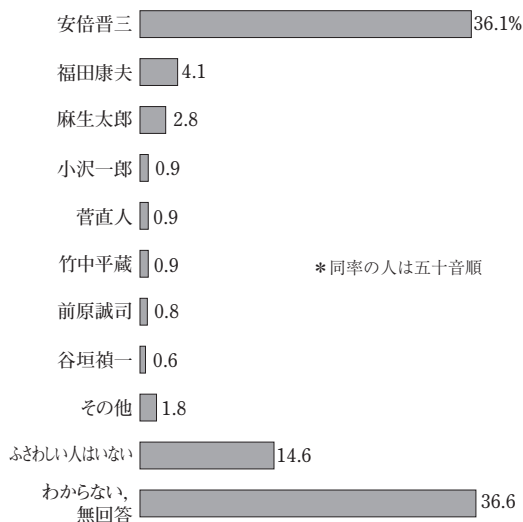
## 「ポスト小泉」にふさわしい人

今回の調査では、いわゆる「ポスト小泉」についても聞いている。小泉総理大臣が、今年9月に総理大臣を退任する意向を示している中、次の総理大臣には現職の国会議員の中で誰がふさわしいと思うかと自由回答で尋ねた。なお、このレポートで使う調査結果は、小数点一位以下を四捨五入した数字で表しているが、この質問では、2番目以下の結果にあまり差が出ていないため、小数点二位以下を四捨五入した数字を使うことにする。

新内閣で官房長官となった安倍晋三氏の名をあげた人が36.1%と、他の人を大きく引き離して最も多かった。次いで今回入閣しな

かった福田康夫氏が4.1%、外務大臣となった麻生太郎氏が2.8%などとなっている(図6)。

図6 「ポスト小泉」にふさわしい人(自由回答)



## おわりに

今回の党役員人事・内閣改造に関しては、6割近い人が「評価する」と答えている。ただ、新内閣に最優先で取り組んでほしい政策についての質問では、「年金などの社会保障」が最も多くなっていて、新内閣が優先して進めようとしている政策とは必ずしも一致していない。

新内閣の評価は、郵政事業の民営化に道筋をつけた小泉総理大臣が組織した内閣なら、社会保障などの改革も進められるとの「期待感」のあらわれとも考えられる。

少子高齢化が進む中、年金や医療に対する国民の不安は広がっている。新しい小泉内閣には、これまでの改革を継続すると同時に、こうした国民の不安に答えられるような改革の将来ビジョンを示すことが求められている。

(こばやしとしゆき)

## 【調査の概要】

1. 調査目的  
内閣支持や政党支持など、国民の政治意識を調査する
2. 調査時期  
2005年11月11日(金)～13日(日)
3. 調査相手  
全国の20歳以上の国民 1,742人
4. 調査方法  
電話法(RDD)
5. 回答数(率)  
1,046人(60.0%)

### —内閣支持—

第1問 あなたは、小泉内閣を支持しますか。  
それとも、支持しませんか。

1. 支持する …………… 56.9 %
2. 支持しない …………… 29.0
3. わからない、無回答 …………… 14.1

### —支持する理由—

第1問 SQ1[第1問で「1. 支持する」の人に]

- あなたが、小泉内閣を支持する主な理由は何ですか。これから読み上げる5つの中から、1つ選んでお答えください。
1. 政策に期待が持てるから …………… 11.3 %
  2. 支持する政党の内閣だから …………… 9.9
  3. 人柄が信頼できるから …………… 8.6
  4. 実行力があるから …………… 39.3
  5. 他の内閣より良さそうだから …………… 29.1
  6. その他 …………… 0.3
  7. わからない、無回答 …………… 1.5

(分母=595人)

### —支持しない理由—

第1問 SQ2[第1問で「2. 支持しない」の人に]

- あなたが、小泉内閣を支持しない主な理由は何ですか。これから読み上げる5つの中から、1つ選んでお答えください。
1. 政策に期待が持てないから …………… 36.3 %
  2. 支持する政党の内閣でないから …………… 15.8
  3. 人柄が信頼できないから …………… 22.8
  4. 実行力がないから …………… 7.3
  5. 他の内閣の方が良さそうだから …………… 9.6
  6. その他 …………… 4.6
  7. わからない、無回答 …………… 3.6

(分母=303人)

### —小泉内閣に最も期待すること—

第2問 あなたが、小泉内閣に対して、最も期待することは何ですか。これから読み上げる9つの中から、1つ選んでお答えください。

1. 年金制度改革 …………… 31.0 %
2. 景気対策 …………… 16.1
3. 行財政改革 …………… 11.2
4. 経済の構造改革 …………… 10.5
5. 教育改革 …………… 6.3
6. 政治倫理の確立 …………… 2.9
7. 雇用対策 …………… 5.3
8. 危機管理の確立 …………… 3.2
9. 少子化対策 …………… 7.1
10. その他 …………… 1.4
11. わからない、無回答 …………… 5.2

### —役員人事・内閣改造の評価—

第3問 自民党の役員人事と内閣改造が行われ、第3次小泉改造内閣が発足しました。あなたは、今回の党役員人事と内閣改造を評価しますか。それとも評価しませんか。これから読み上げる4つの中から1つ選んでお答えください。

1. 大いに評価する …………… 8.6 %
2. ある程度評価する …………… 50.1
3. あまり評価しない …………… 25.4
4. まったく評価しない …………… 8.0
5. わからない、無回答 …………… 7.8

### —評価する理由—

第3問 SQ1[第3問で1.2と答えた人に]

あなたが、今回の党役員人事や内閣改造を評価する理由は何ですか。これから読み上げる3つの中から1つ選んでお答えください。

1. 構造改革がさらに進むと期待できるから …………… 27.9 %
2. 派閥のバランスにとらわれずに  
経験豊富な人材を適材適所で  
登用したから …………… 47.7
3. 小泉総理大臣の後継者となる  
人材をバランスよく登用したから …………… 18.1
4. その他 …………… 0.5
5. わからない、無回答 …………… 5.9

(分母=614人)

### —評価しない理由—

第3問 SQ2[第3問で3.4と答えた人に]

あなたが、今回の党役員人事や内閣改造を評価しない理由は何ですか。これから読み上げる3つの中から1つ選んでお答えください。

1. 年金改革などの重要な政策に取り組んでいこうという  
姿勢が見えないから …………… 47.4 %
2. 若手の登用が少ないなど新鮮さに欠けるから …………… 11.4
3. 中国や韓国との関係を軽視した  
人事になっているから …………… 32.9
4. その他 …………… 2.3
5. わからない、無回答 …………… 6.0

(分母=350人)

### —新内閣で構造改革進むか

第4問 小泉総理大臣は、今回の内閣は「改革続行内閣」だと述べています。あなたは新しい内閣によって、構造改革がさらに進むと思いますか。それともそうは思いませんか。これから読み上げる4つの中から1つ選んでお答えください。

1. 大いに進むと思う …………… 7.0 %
2. ある程度進むと思う …………… 53.1
3. あまり進まないと思う …………… 28.3
4. まったく進まないと思う …………… 5.7
5. わからない、無回答 …………… 5.9

### —新内閣に取り組んでほしいこと—

第5問 あなたが、新しい内閣に最優先で取り組んでほしい政策は何ですか。これから読み上げる7つの中から、1つ選んでお答えください。

1. 景気対策 …………… 15.3 %
2. 年金や医療などの社会保障政策 …………… 41.8
3. 北朝鮮問題やイラク支援などの外交政策 …………… 5.5
4. 税制改革 …………… 8.7
5. 少子化対策 …………… 5.5
6. 国と地方の役割見直し …………… 2.9
7. 公務員削減などの行政改革 …………… 15.3
8. その他 …………… 0.7
9. わからない、無回答 …………… 4.3

一ポスト小泉にふさわしい人—

第6問 小泉総理大臣は、来年9月に自民党総裁の任期が切れるのに合わせて、総理大臣を退任する意向を示しています。あなたは、次の総理大臣には誰がふさわしいと思いますか。現職の国会議員の中でふさわしいと思う人を1人だけおっしゃってください。

1. 安倍晋三 …………… 36.1 %
2. 福田康夫 …………… 4.1
3. 麻生太郎 …………… 2.8
4. 小沢一郎 …………… 0.9
5. 菅直人 …………… 0.9
6. 竹中平蔵 …………… 0.9
7. 前原誠司 …………… 0.8
8. 谷垣禎一 …………… 0.6
9. その他 …………… 1.8
10. ふさわしい人はいない …………… 14.6
11. わからない、無回答 …………… 36.6

一消費税率引き上げ賛否—

第7問 消費税のことにについてお伺いします。政府・与党内では、財政再建や増大する社会保障費に対応するため、消費税の税率を引き上げる必要があるという意見が出ています。あなたは、消費税の税率を引き上げることにどう思いますか。これから読み上げる4つの中からあなたのお考えに近いものを1つ選んでお答えください。

1. 高齢化社会への対応や財政再建のために消費税率を引き上げることが必要だ …………… 10.4 %
2. 公務員の削減など、徹底した歳入の見直しを進めた上で消費税率を引き上げるのならやむをえない …………… 56.2
3. 社会保障や公共事業などの水準が下がっても今の消費税率は維持すべきだ …………… 7.1
4. どんな事情があっても消費税率の引き上げには反対だ …………… 21.9
5. わからない、無回答 …………… 4.4

一靖国参拝の評価—

第8問 小泉総理大臣の靖国神社参拝についてお伺いします。小泉総理大臣は、先月17日に靖国神社に参拝しました。あなたは小泉総理大臣が参拝したことを評価しますか。それとも評価しませんか。

1. 評価する …………… 43.0 %
2. 評価しない …………… 42.1
3. わからない、無回答 …………… 14.9

一評価する理由—

第8問 SQ1[第8問で「1.」と答えた人に] あなたが、小泉総理大臣が靖国神社を参拝したことを評価する理由は何ですか。これから読み上げる3つの中から1つ選んでお答えください。

1. 総理大臣が戦争で亡くなった軍人などを追悼するのは当然だから …………… 57.6 %

2. 靖国神社参拝は小泉総理大臣の公約だから …………… 11.6
  3. 中国や韓国からの反発に屈しないで参拝したから …………… 25.6
  4. その他 …………… 2.7
  5. わからない、無回答 …………… 2.7
- (分母=450人)

一評価しない理由—

第8問 SQ2[第8問で「2.」と答えた人に] あなたが、小泉総理大臣が靖国神社を参拝したことを評価しない理由は何ですか。これから読み上げる3つの中から1つ選んでお答えください。

1. A級戦犯が合祀されている靖国神社に総理大臣が参拝するのは問題だから …………… 17.3 %
  2. 参拝によって中国や韓国などとの関係に影響が出るから …………… 63.2
  3. 政教分離を定めた憲法に違反するおそれがあるから …………… 16.4
  4. その他 …………… 1.6
  5. わからない、無回答 …………… 1.6
- (分母=440人)

一新たな追悼施設建設賛否—

第9問 あなたは、過去の戦争で亡くなった人々を追悼するために、宗教と関わりのない新たな国立の施設をつくるという考えに賛成ですか。それとも反対ですか。

1. 賛成 …………… 45.7 %
2. 反対 …………… 33.7
3. わからない、無回答 …………… 20.6

一イラク派遣12月撤退賛否—

第10問 イラクに派遣されている自衛隊のことにについてお伺いします。自衛隊の派遣は今年12月で期限が切れます。あなたは、12月以降も自衛隊のイラク派遣を続けることに賛成ですか。それとも反対ですか。

1. 賛成 …………… 22.4 %
2. 反対 …………… 66.7
3. わからない、無回答 …………… 10.9

一今の支持政党—

第11問 いま、あなたは、何党を支持していますか。支持している政党の名前を、1つだけおっしゃってください。

1. 自民党 …………… 41.2 %
2. 民主党 …………… 14.2
3. 公明党 …………… 3.3
4. 共産党 …………… 2.6
5. 社民党 …………… 1.7
6. 国民新党 …………… 0.0
7. 日本 …………… 0.0
8. その他の政党や政治団体 …………… 0.3
9. 特に支持している政党はない …………… 31.4
10. わからない、無回答 …………… 5.4

サンプル構成

全体	性別		年齢							無回答			
	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上					
1,046人	422	624	62	171	187	190	195	229	12				
100.0%	40.3	59.7	5.9	16.3	17.9	18.2	18.6	21.9	1.1				
全体	男の年層						女の年層						無回答
	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
1,046人	26	77	75	66	73	98	36	94	112	124	122	131	12
100.0%	2.5	7.4	7.2	6.3	7.0	9.4	3.4	9.0	10.7	11.9	11.7	12.5	1.1